



小豆島町サン・オリブで1月21日、第29回党大会に参加した白川よう子予定候補を迎え、党と後援会の「新春の集い」を開催しました。

小豆島新春の集い 白川候補 熱く訴え



長が誕生した党大会の様子に続いて、パーティ券裏金問題で、平井卓也議員の金集めの実態が報告され、参加者からは、「自民党には本当に腹が立つ」と怒りの声が上がりました。

経済再生プランの説明と、国民の暮らしを支える政治をこの訴えには、参加者からも「安い給料や奨学金の負担が大変だ」など共感の声が上がりました。

最後に司会の村上久美さんから、総選挙に勝利をするために後援会の組織を作っていくまじょうと提案がありました。

牟礼でつどい 石田候補

ASEANのような対話の習慣で解決していくことが重要」としました。

また市民と野党の共闘の再構築とその核となる日本共産党の躍進が重要だとし、「自公政権の社会保障は削り、消費税減税を検討すべし、ミサイルなど大軍拡に予算を使うという、国民の生活を苦しめる真逆の政策をやめさせなければならぬ」と強調しました。

石田氏は、国際情勢では「ウクライナ問題やイスラエル、パレスチナ問題については、暴力や覇権主義は許されず、国連憲章に基づいて平和の国際秩序をつくるために

「派閥や議員の会計責任者だけが責任をとりされたり、派閥を解散することで終わる話ではなく、企業団体の献金や政治パーティイそのものを禁止したり、真相の解明をして素早く解決していくことが必要だ」と訴えました。

「自民党には本当に腹が立つ」と怒りの声が上がりました。

2500円、党活動募金1万2800円が集まりました。



香川県消費税率廃止各界連絡会は1月24日、田町マルナ力前で「政治家の裏金許すな！減税するなら消費税！インボイスは廃止！」のテーマで署名と宣伝行動を行いました。



全国一斉 怒りの宣伝署名行動 消費税廃止県各界連

また、世界の109の国・地域では、コロナ禍や物価高で消費税に当たる付加価値税を減税し、食料品など生活必需品の付加価値税の減税を行っているのに日本ではできないわけがないとして、「消費税の導入以降、法人税や所得税は減税されてきたが、消費税減税のために大企業や富裕層への応分の負担が必要だ」と述べました。

2024年度は公的医療保険の診療報酬、介護保険の報酬、障害福祉サービス等の報酬の改定額を同時に決める「トリプル改定」の年です。三つの報酬は国民が医療や介護、障害福祉のサービスを受ける際の公定価格として国が予算論議の中で定め、患者・利用者が原則一部を負担します。

2024年度予算案を閣議決定しました。決定に至る論議の中で「とりわけ診療所は、コロナ対応で利益が上がっているとして診療所の報酬単価を5・5%引き下げる」などの意見も出され、2024年度診療報酬改定の「本体」改定率を0・88%引き上げる一方、「薬価」は1%引き下げ、全体で▲0・12%のマイナス改定となりました。

全国的な開業医でつくる保険医団体連合会の住江会長は「貧困・格差が広がる中で奮闘してきた医療現場をまったく無視した内容だ。社会保障制度をどう考えているのか」「マイナス改定は医療現場にとつて心が折れる内容だ」と強調されました。

「診療報酬改定率は、医療従事者の処遇改善どころか、この間の物価高騰、人件費の上昇分にはまったく届いていない。今日、コロナ関連の補助金や特例加算が大幅に縮小、廃止され、医療機関の置かれている状況は、事業の継続に必要な医療従事者の確保、働く職員の処遇改善どころか設備投資すら困難な状況が生じている。」

診療報酬の改定について 香川民医連 奥谷啓一

2024年度は公的医療保険の診療報酬、介護保険の報酬、障害福祉サービス等の報酬の改定額を同時に決める「トリプル改定」の年です。三つの報酬は国民が医療や介護、障害福祉のサービスを受ける際の公定価格として国が予算論議の中で定め、患者・利用者が原則一部を負担します。

国民のいのちと健康、生存権を守る立場、そして、すべての医療従事者の処遇改善を実現する立場から大幅な再改定を国民とともに求めたいと思います。

専台太

「しんぶん赤旗日曜版」配達。30部余を毎週木曜日の朝、妻が長年愛用使用していた電動補助付自転車に配達。朝6時過ぎから約2時間のコース。集金を含めて様々な楽しい出会いがあります。1月28日付の配達は25日(木)。1月最後の配達でした。ところが昨夜からの充電を忘れていて、充電残量50%。登り傾斜のみ使用に切り替えましたが、途中で充電切れというハプニングも。何とか完配し、午前9時には帰宅。▼当日の「日曜版」1面は、田村新委員長の顔写真、『希望届けたい 田村新委員長語る』の大見出し。『自民党政治をおわらせる政策掲げてのびのび挑戦』のサブ見出し。2、6、7、15面へと大会報道が盛りだくさんに続きます。▼岸田自公政権、自民党政治への国民の批判は高まり、支持は最低：地に落ちています。田村新委員長を選出した日本共産党への国民の関心と期待は、高まっています。最近の『民主香川』の刷新ぶりに気が付いている読者のみなさん。さあ！。『日刊紙も含めて、大会を伝える全紙面をじっくり読み込み、多くの多くの「つながり」を広げて、大いに国民の期待に応えようではありませんか。』「初動が肝腎」です。(も)